



｜ 報告書 ｜

鳥取 砂のルネッサンス2022



鳥取 砂のルネッサンス
実行委員会
委員長
田淵 裕章

砂のルネッサンス2022年の活動を終えて

砂像文化の醸成と砂の魅力の可能性を広げることを目的として、熱意ある市民が中心となって立ち上げた砂のルネッサンス実行委員会の活動は、今期で6年目の取組となりました。昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染症拡大によりメインイベントの開催も危ぶまれましたが、本年度は歩を止めることなく我々に与えられたミッションを出来る限り実行し、ある一定の成果を得ることが出来たと一年間の活動を振り返ります。

本年度も引き続き笠間浩幸先生とポーネルド社をはじめ多くの外部協力者にご協力をいただき、地域の幼稚園・保育園と連携して砂場教育の体験会を「すなばようちえん」として複数回開催することが出来、多くの園児に砂に触れ合う楽しさを伝え、先生方には砂場の魅力の引き出し方を適切にご理解いただけることが出来たと感じております。今後もこれらのノウハウを継続的に広く波及させ、日ごろから砂に触れ合う機会を最適化し増やしていくことが「砂のまち鳥取」実現のベースを創ることにつながることを確信しました。

そして、本年はマリニピア賀露内の広場に巨大砂場を出現させ、10月29日、30日、近年開催が許されなかった「あそびのすなば」を開催することが出来、多くの親子にプレイラーと一緒にダイナミックな砂遊びを体験いただくことが出来ました。会場には花井健太氏プロデュースの「因幡の白兔」「大国様」「八上姫」のシンボル砂像をはじめとする高い品質の砂像を製作し、お披露目することが出来、市民の砂像文化を向上させることも出来ました。今後も引き続き地元市民の砂像アーティストを発掘して育っていく活動を推進してまいります。また、年末には令和五年の兔年を前にして、白兔神社の砂像を12年ぶりに市民の手によってリニューアルすることも実現し、県内外多くの参拝者へ鳥取の砂の魅力伝えることが出来ました。来年度以降も砂像作品を様々な場所で表現しつつ「砂のまち鳥取」の実現へ向けて活動を推進してまいります。最後になりましたが、公私ともにお忙しい中、全力で活動にご協力頂きました実行委員会内外の関係者の皆様へ心より感謝を申し上げます。来年度は更にダイナミックな活動を行い、鳥取砂丘の砂の魅力をより多くの人へ伝え、砂像彫刻とすなばの文化を発展させていくことをお約束いたしまして、私からのあいさつに代えさせていただきます。ありがとうございました。

監修

同志社女子大学 現代社会学部
現代こども学科教授

笠間 浩幸氏



砂場と子どもについて
30年以上研究。(砂場)
と子どもなど著書も多数。

外部協力

(株) ポーネルド
遊環境事業部

永山 隆太氏

HISTORY これまでの歩み

2017 | 実行委員会発足——鳥取砂のルネッサンス2017開催

- シンボル砂像制作
- 砂像選手権
- 砂のワークショップ



2018 | 鳥取砂のルネッサンス2018開催

- シンボル砂像制作
- 学生限定砂像グランプリin鳥取
- 中学生砂像選手権
- 砂のワークショップ
- 鳥取砂丘ビアフェスタ
- 砂丘しゃんしゃんフェスタ



2019 | 鳥取砂のルネッサンス2019開催

- シンボル砂像制作
- 学生限定砂像グランプリin鳥取
- あそびのすなば(ポーネルド社とのコラボレーション)
- 光る泥だんごづくり
- フードブース

幼児教育セミナー/すなばようちえん開催



2020 | イベント中止

コロナ復興砂像制作/展示
あそびのすなば2020

- 砂遊びの魅力発信
- インスタグラム小さな砂像選手権

幼保キャラバン

- アンケート調査
- 鳥取県教育委員会との意見交換会

未来のイメージビジョン制作



2021 | 第一回鳥取砂まつり イベント中止

- シンボル砂像制作/展示

砂像型枠商品開発 砂あそび共育支援

- すなばようちえん
- 砂絵 制作・展示
- 保育者対象砂場保育研修会
- 砂場環境整備
- 砂の先生育成事業



2022 | 第二回鳥取砂まつり開催

- シンボル砂像&砂絵 制作/展示
- あそびのすなば
- ホワイトサンド

砂あそび共育支援

- すなばようちえん
- 保育者対象砂場保育研修会
- 砂の先生育成事業(中止)

第二回 砂まつり in 賀露 [砂で魅せる因幡の白うさぎ]

砂絵パネル × シンボル砂像

2023年は兎年。鳥取にまつわる、誰もがよく知っている物語の場面を、砂を使って描き出しました。子ども達が砂で描いた3枚の大きな砂絵を順に見ていくことで物語は進んでいき、大国主命と八上比売が結ばれる最後の場面はシンボル砂像で表現。マリニピア賀露を訪れた来場者を迎えました。

シンボル砂像 制作 2022年10月29日(土)～11月5日(土)

会場：マリニピア賀露

制作：花井健太
共同制作/木工彫刻家、フィギュア作家

協力：砂の美術館

展示期間/2022年11月6日(日)～11月13日(日)



砂絵制作：鳥取砂丘ビジターセンターへの来場者
ひかり保育園 など
鳥取砂のルネッサンス実行委員会
展示期間/2022年10月29日(土)～11月13日(日)



ディレクションおよび制作

はない けんた
花井 健太 氏

【経歴】

- 1985年 生まれ 千葉県柏市出身
- 2011年 東京藝術大学大学院
研究科彫刻専攻修了
- 2014年 重要無形文化財「小石原焼」保持者
福島善三氏に師事
- 2017年 鳥取県鳥取市河原町にて
「花輪窯(かりんがま)」開窯



所見

昨年は麒麟獅子を製作した子ども達との砂絵づくり。砂あそびだけではない砂の楽しみ方の一つとして継続し、今年度は砂像と合わせたストーリー性のある展示として実施。砂絵づくりでは、砂場の砂とは違う感触や遊び方で楽しんでくれる姿があり、会場での展示では来場された多くの方に見ていただくことができた。シンボル砂像の制作は、昨年に続き花井氏をメインに、そのつながりから今年は県外の木工彫刻家、フィギュア作家の方々に参加いただい、質の高い砂像を創りあげることができた。砂像作家ではない作家と砂像のつながりができ、またの機会創出につなげていきたい。完成後のお披露目会、展示期間には、賀露に来られた多くの観光客にご覧いただけ、砂の美術館にも行って来たという方や、これから行ってみようという方々、写真を撮られる方々など多くの方に興味関心を持っていただけた。今後は、古砂丘の砂や砂像が完成するまでの解説看板を設置したり、歴代の砂像を看板で展示するなど、もっと積極的に砂像の魅力発信に努めていきたい。

砂像お披露目イベント

2022年11月6日(日) 13時30分～14時00分

プログラム：実行委員長、来賓挨拶/賀露神社神主様による祈祷/しゃんしゃん傘踊りの演舞

参加者：鳥取市長、鳥取市議会議員、鳥取砂丘ビジターセンター館長、
砂のルネッサンス実行委員会メンバー、賀露神社、しゃんしゃん傘踊りチーム「我龍天晴」



第二回砂まつり in 賀露 [あそびのすなば]

あそびのすなば

2022年10月29日(土)・30日(日)

時間 : 両日 10:00~ / 11:00~ / 13:00~ / 14:00~ / 15:00~ / 16:00~ (各回45分間)

定員 : 各回50名 事前予約制

料金 : 1名500円 アンケートで遊び道具プレゼント

■巨大すなば

約12m×14m、砂の深さ約40cm。株式会社ボーネルンドの協力のもと、たくさんの遊び道具、あそびのスペシャリスト「プレイリーダー」との遊びを提供。

■ホワイトサンドプール

ホワイトサンドは株式会社HARIO様より提供。小さなお子様も安全に遊べ、感触が珍しい不思議な砂をプールに敷き詰めた。

参加人数 524人(2日間)

LINE 友だち登録人数174人

2022年11月6日(日)

時間 : 13:00~15:00 すなばのみ開放

■LINEアンケート

LINEアカウントの友だち登録からアンケート回答で遊び道具をプレゼント。

■その他

会場には、砂絵で出来た受付サイン、古砂丘の砂の説明や実行委員メンバーを載せた看板を設置。砂で焼いた「砂焼き芋」の販売なども実施。

■宣伝告知

市内幼稚園保育園へのフライヤー配布
web/Instagram 広告



■フライヤー



■アンケート結果 回答165件

Q1.参加人数(大人も子どもも合わせて)

1名(3件) 2名(66件) 3名(55件) 4名(33件) 5名(8件)

Q2.お住まい

鳥取県東部(155件) 鳥取県中部(0件) 鳥取県西部(2件) 県外(8件)

Q3.保護者年代

20代(15件) 30代(105件) 40代(39件) 50代(1件) 60代(1件)

Q4.イベントを知ったきっかけ

SNS/WEB広告(39件) フライヤー(95件) 公式SNS/メンバーSNS(8件)
知り合いから(11件) 委員会ホームページ(5件) 現地(22件) その他

Q5.お子様の年齢

0歳(4件) 1歳(22件) 3歳(38件) 4歳(60件) 5歳(40件) 6歳(24件)
7歳(13件) 8歳(11件) 9歳(10件) 10歳(1件) 11歳(2件)

Q6.満足度

大変満足(113件) 満足(50件) やや不満(1件) 不満(1件)

Q7.入場料について

高い(33件) 妥当(118件) 安い(14件)

所見

コロナウイルスで数年間イベントが実施できず、2019年
以来の開催だった。当日は子ども達が砂で思い思いに遊
び、多くの笑顔が見られ、あらためて鳥取の子ども達が砂
で遊ぶ機会の提供ができてよかったと感じられた。アン
ケート「なぜこのイベントに参加されようと思っていまし
たか?」という質問では、「子どもが砂遊びが好きだから」、
「楽しそうだったから」といった声が大半。もっと砂で遊び
たい子どもたち、保護者に面白そうと思っていただけで
内容を今後も考えていけたらと思うと同時に、砂あそび環
境のニーズはまだあると感じられた。当日来られた
方々の中には、もっと遊びたいと回を跨いで参加される
方、2日連続で来られた方もおられた。アンケートの感想
では子どもたちの楽しかったという声も大半、保護者か
ら大人も楽しめた、子どもと一緒に楽しめた、スタッフ
の声掛けと一緒にあそぶことも良かったなどが挙げられ
る。砂遊びで挑戦してみたいとの質問では、お城づく
り、大きなものをつくりたい、などの声も。皆で思い切り
遊ぶ子、一人で黙々と遊ぶ子、0歳から11歳まで色んな子
ども達がいることも分かり、今後はすなばは内のコーナー分
けやコンテンツ充実を図ってきたい。

砂あそび共育支援 「すなばようちえん」

ここに住む大人たちで
「砂あそび」を通して、
子どもたちの創造性や
生きる力を育んでいこう！

「砂あそび共育支援」にかける想い

子ども達が大人になった頃いったいどんな時代がやってきているのでしょうか。どんな社会だったとしても、その時代に合わせ変化し、他者と協同しながらでも自らの生涯を生き抜ける子ども達であってほしい。それが私達大人の想いです。砂遊びは、こどもの発達に大きな役割を果たすことがわかっています。また砂遊びを通して人間関係づくりや社会性・思いやりといった成長の姿が見られるのも砂場遊びの魅力のひとつです。「砂」のまち鳥取。この鳥取の「砂」が子ども達を育て、人をまちを豊かにする。そんな未来を描くため、この事業を実施しています。

すなばようちえん

2022年10月19日(水)～11月11日(水)

時間： マリンピア賀露 あそびのすなば

参加園： せんだい保育園 年長/みたから保育園 年長/
いなばようちえん 年長/白ゆり保育園 年長/
のぞみ保育園 年中/鳥取第五幼稚園 年中年長/
とっとり第一幼稚園 年長/さくらようちえん
すくすく保育園 年長/倉田保育園 年長/LCキッズ/
みやこ保育園 年中/空山ぼくじょうようちえんぱっか

計13園 381名(昨年:9園254名)

実施までに、現状園の課題などをヒアリングして内容を検討。

実施後、「園での砂場遊びの変化」についてアンケート調査、検証を行った

主な園の課題

砂遊びの重要性は先生方も認識されている。しかし、

- ①園の砂場の大きさが十分でなく、ダイナミックな遊びをさせられない
- ②夏の暑さ、気温が年々高くなっており外で砂遊びをする回数が減っている。etc



すなばようちえんについてアンケート調査

【参加理由】

- 園では砂像制作やダイナミックな遊びをさせられないので普段園ではできない遊びをさせたかった。
- 自然体験で海岸に行くようになり、園の砂と海岸の砂の違いに気づいた。そこで古砂丘の砂にも触れ、様々な砂を体験してもらい子どもたちの感性を伸ばしたかった。
- 白兔神社の展示砂像を見て、子どもたちから「くってみたい!」と言い始めた。
- 昨年砂場保育研修会に参加し、砂のおもしろさを知った中で子どもたちにもそのおもしろさを体験させたかった。
- 砂の美術館の砂像を見て、自分たちも挑戦してみたい!という声があがった。
- 砂の感触や普段できない砂遊びの楽しさに触れさせたかった。

【園の感想】

- 普段砂像をつくる機会がない中、今回このような体験をさせてもらい子どもたちはたくさんの学びと刺激を受けたと思う。
- 普段園ではできないことを体験させてもらえありがたかった。
- おもいきり砂遊びができて子どもたちがとにかく楽しんでいる姿を見て嬉しかった。
- これほどに集中して遊ぶ姿を見て砂遊びの大切さを改めて痛感した。
- 子どもたちだけではなく大人も楽しんでしまうぐらいに、楽しい時間だった。
- 砂の美術館や白兔神社で見る砂像が自分たちでも創れるのだと知り今回実際にくってみて、子どもたちは大喜びだった。これを繰り返すことでふるさとへの愛着も育ってくるように感じた。
- 親御さんからも良い声をいただいた。

【実施後の変化】

- 寒い時期に入ってしまったので砂遊びをあまりさせてやれてないが、砂遊びの遊び方に変化が生まれた。今までは型を抜いたりトンネルをつくって遊ぶだけだったが、砂で何かをつくってみたり、つくったものをつなげて大きな作品にしてみたりと、子どもたちの独創性が広がったと思う。



今後の重点課題項目

2023年は鳥取砂丘西側エリアで開催予定

現在

- 砂遊びのマンネリ化
- 砂場がない園がある
- 砂遊びの大切さはわかるが環境が整わない

10年後の
2028年に
めざす姿

- 砂場がない園がゼロ
- 夏場でも砂遊びができる環境がつけられた
- 先生も子どももおもいきり砂遊びを楽しんでいる
- 卒園制作がサンドアートに

砂あそび共育支援 [砂場保育研修会]

砂場保育研修会

実施日 2022年11月4日(金)

【第1部】実践研修会

時間 : 13:00~14:30

場所 : マリンピア賀露

内容 : **砂のマンネリ化を解消する方法**

- 園にある道具でお城づくり
⇒階段づくり
⇒つなげていく
⇒一つ一つの作品が大きくなる一つの作品となる

参加園

豊実保育園/河原あゆっこ園/
鹿野こじか園/富桑保育園
合計4園参加

講師

同志社女子大学現代子ども学科教授
笠間 浩幸 氏



実施日 2022年11月4日(金)

【第2部】座学「砂遊び × 子どもの発達」

時間 : 15:00~16:30

場所 : 鳥取市民交流センター多目的室

内容 : ●砂遊び中の子どもとの関わり方

“声掛けや遊びの補助はどうしたらいいのか分からない”を解消する

●砂遊びは各年齢の発達段階に合わせ遊ぶのもポイント

●砂遊びは子どもの発達にとっても効果的!



所見

園の大きな課題として砂のマンネリ化。しかしここ2年研修会を開催しているが、参加園が少ない。今年の声として、開催月が園の行事と重なり参加が難しいと言われた園が5園ほどあった。

2023年取り組み案

- 砂遊びのマンネリ化解消
→大人の砂遊びサークルの開催、すなばようちえんの開催
- 砂遊びでの子どもたちへの声掛けや遊びのサポート
→ZOOMセミナーの開催
- 保育園の砂場環境の改善
→検討中

ゴール 砂場保育の充実化

- ★園の砂場が十分な広さになっている(水・道具も充実)
- ★先生が子どもたちのヒーローになっている

■砂の先生育成事業は希望者の応募がなく、中止

先生方の感想

Q 今回の研修会でこどもの発達に砂場遊びが効果的だと知れたか?

全員 はいと回答

- 座ったり、歩いたり、運んだりすることで運動能力が高くなる。
- 遊びながら創造性が育まれる。
- 一人ひとりが主体をもって遊ぶ。
- まずは触る所から始まりいろいろな遊びが展開できるので砂遊びの深さを知った。
- 各年齢の発達段階に合わせて、遊び方を変化させたり、広げたりすることができる。

Q 研修会で得たことは?

- いろいろな素材を準備することでどんどん遊びが広がっていく。
- 子ども達と砂遊びをする中で、研修で経験したこと(型抜き城、階段づくりなど)を実際に行ってみて。
- 砂遊びの広げ方、道具の使い方、砂の魅せ方を知れた。
- 身近なもので階段がつくれり、お城がつくれる楽しさを知ったので子どもたちにも教えてあげたい。

研修を終えて

- すごく楽しい研修会でした。園からも様々な素材で砂遊びを盛り上げていきたいと思えます。
- 砂遊びがこんなに奥深いものだとは知らなかったので今回知れて良かった。
- 子どもたちがどんな遊びをしているのかを見ながら、子どもたちの遊びが発展するような道具を用意したり、保育現場で活かしていきたい。
- 実際に砂遊びを体験したことで、砂遊びの可能性や魅力に気づくことができ子どもたちがこれまで遊んでいた姿の見方が変わった。
- 今まで砂遊びをしていて展開の方法がわからなかったが今回の研修でいろいろ学ぶことができた。遊ぶ環境はすごく大切だと思ったので今日学んだことを園に持ち帰り、また明日からの保育に活かしていこうと思う。座学だけではなく実践がありすごくわかりやすかった。

砂遊びで抱えている疑問や悩み



- 砂遊び中の子どもとの関わり方
- 砂遊びのマンネリ化

ここが園が抱えている最大の悩み。
※単純な遊びだからこそ発展の仕方が難しい



実際、子どもたちは砂があれば夢中で遊ぶ

しかし、先生方の想いとしてたくさんの刺激を与えて、子どもたちの成長を支えたい(同じような遊びではなく違った遊び方に挑戦させる)

その方法がわからないから、研修会で学びたい

私たちが目指す10年後の鳥取の姿

砂が「文化」となり「産業」となる。砂は子どもたちの心や知性を育み、市民の生活を豊かにする可能性をもっている。「砂」でこのまちの未来を創り豊かで誇れる鳥取を子ども達へ残していきたいと思えます。



砂で創造する豊かな鳥取の未来

MISSION

子ども達が
“自慢できる”“誇りに思える”鳥取市に。

VISION

砂を通して鳥取の次世代、市民の生活を豊かに。

Value

「砂の新しい価値に触れる機会をつくる」

「大人の役割として、砂で子ども達の生きる力を養う」

「砂と人をつなげ、砂で人と人をつなげ、未来をつなげる」

鳥取砂のルネッサンス実行委員会メンバー

委員長	田淵 裕章【(株)田淵金物】
副委員長	野村 亮介【(株)ノーマクラフト】
副委員長	山根 光彦【(有)アドセンターパル】
事務局長	尾前 康寛【(株)日本海プラサ】
監事	石塚 康裕【(一社)麒麟のまち観光局】

実行委員 (50音順)

石上 直樹	【(株)プロシード】
遠藤 理恵	【MOTHER'S WEDDING.】
岡野 巧	【鳥取砂丘砂像連盟】
尾坂 亮	【株式会社 Re:MEMBER など】
岸本 雄司	【(一社)すなばスポーツ】
段塚 俊彦	【ピストロ&バーおれんち】
中井 史生	【(有)アドセンターパル】
中井 みずほ	【Tottori Mama's】
西川 昌孝	【西川ピアノ調律所】
西山 雄一郎	【(有)西山家具】

林 貴文	【はやし整骨院】
福島 葉子	【hair/nico】
村江 利津	【山陰海岸国立公園 鳥取砂丘ビジターセンター】
諸吉 稔	【株式会社 TSP】
オブザーバー	
鳥取市役所観光・ジオパーク推進課	
松尾 真司 下澤 武志	【砂の美術館】
後援	
鳥取市	

